

# 総合選抜採用試験に関するよくある質問と回答

防衛大学校教務部入学試験課

令和5年5月改訂版

## 目次

1 出願資格について	
Q 1	どのような人が対象ですか？
Q 2	生徒会で書記(一例)をしていました。出願することはできますか？
Q 3	運動部に所属し、県大会3回戦進出(一例)が最高成績でした。出願することはできますか？
Q 4	今年の春にドイツ語検定3級(一例)を取得しました。出願することはできますか？
Q 5	中学校で生徒会長(一例)を務めていました。これは実績となりますか？
Q 6	高等学校卒業程度認定試験又は、認定審査の合格者も出願することができますか？
Q 7	高等学校既卒者です。高等学校時代には特に活動をしていませんが、高等学校卒業後に活動実績があれば、出願することはできますか？
Q 8	どのような資格を持っていると有利ですか？
Q 9	過去の合格者は、どのような活動実績で出願したのですか？
Q 10	各種大会等が開催されなかったのですが、出願することはできますか？
2 提出書類について	
Q 1 1	どのような提出書類がありますか？
Q 1 2	『志願理由書』及び『活動実績報告書』に複数の活動内容を記入してもよいですか？
Q 1 3	『活動実績証明資料』は、どのようなものを提出すればよいですか？
Q 1 4	大会成績や資格認定書等がなく『活動実績証明資料』を提出できない者でも出願できますか？
Q 1 5	姓のみ(又は団体名のみ)が記載された資料は、『活動実績証明資料』になりますか？
Q 1 6	『活動実績証明資料』をCD・DVD等や冊子で提出してもよいですか？
Q 1 7	外国語の新聞・雑誌等を『活動実績証明資料』として提出してもよいですか？
Q 1 8	『活動実績証明書』を記入してもらう人は、どのような人でなければならないですか？
Q 1 9	『活動実績証明書』を2部以上提出してもよいですか？
Q 2 0	『活動実績証明書』には、どのようなことを記入してもらえばよいですか？
3 第1次試験について	
Q 2 1	第1次試験において、どのような科目がありますか？また、第1次試験の時間割は、どのようになっていますか？
Q 2 2	『小論文』は、どのような問題が出題されますか？
4 第2次試験について	
Q 2 3	第2次試験において、どのような種目がありますか？また、第2次試験の時間割等は、どのようになっていますか？
Q 2 4	『適応能力試験』は、具体的に何を、どう評価されるのですか？
Q 2 5	『基礎体力試験』の目的と実施種目は？
Q 2 6	『基礎体力試験』の合格基準は、スポーツの活動実績で出願した者と、そうでない者との間で、差が設けられるのですか？
Q 2 7	『基礎体力試験』中に怪我等をした場合は、どうなりますか？
Q 2 8	『問題解決能力試験』とは、例えばどのような課題が出題されるのですか？
Q 2 9	『問題解決能力試験』とは、具体的に何を、どう評価されるのですか？
5 その他	
Q 3 0	他大学と併願することはできますか？
Q 3 1	他の採用試験での合格者と入校後のカリキュラム等に相違はありますか？
Q 3 2	試験における新型コロナウイルス感染症の取り扱いはどうなりますか？

# 総合選抜採用試験に関するよくある質問と回答

## 1 出願資格について

### Q1 どのような人が対象ですか？

(回答)

中学校卒業後から出願に至るまでの期間に、各種活動等に主体的に取り組み、それらの活動を通じて学んだことを防衛大学校に入校してから、更には幹部自衛官になった時に活かそうとする強い意志を持つ人物が対象となります。

なお、各種活動等には以下の様なものが該当します。

- ①地域活動またはボランティア活動等
- ②スポーツ、文化活動等（部活動可）
- ③語学、情報処理及びその他各種検定等での資格取得
- ④数学オリンピック、物理チャレンジ、化学グランプリ及び地理オリンピック等
- ⑤生徒会活動、学級委員等

### Q2 生徒会で書記（一例）をしていました。出願することはできますか？

(回答)

活動実績に関する基準は一切設けていないため、出願できます。

また、生徒会長や生徒会の役員でなくても、積極的に活動に参加し、生徒会活動を活性化した等の実績があれば出願できます。

### Q3 運動部に所属し、県大会3回戦進出（一例）が最高成績でした。出願することはできますか？

(回答)

活動実績に関する基準は一切設けていないため、出願できます。

例えば、これまで2回戦進出が最高だったものが、努力の結果3回戦進出を果たしたのであれば、それは活動実績としての評価対象になります。

また、県大会優勝の人とベスト16で敗退の人がいたとしても、結果に限らず、結果に至る過程において何を学んで、それを今後どう活かすのかという点も重視しますので、必ずしも優勝の人が結果だけで有利になるとは限りません。

**Q 4** 今年の春にドイツ語検定3級（一例）を取得しました。出願することはできますか？

（回答）

活動実績に関する基準は一切設けていないため、出願できます。

**Q 5** 中学校で生徒会長（一例）を務めていました。これは実績となりますか？

（回答）

活動内容として認められるのは、中学校卒業後の活動等です。

中学校時代の活動等は実績として認められませんので、ご注意ください。

※ 補足事項

中等教育学校卒業の方は、高等学校1年生に相当する4年生以降の活動等が実績となります。

**Q 6** 高等学校卒業程度認定試験又は、認定審査の合格者も出願することができますか？

（回答）

高等学校卒業程度認定試験（以下「認定試験」という。）又は、高等学校卒業程度認定審査（以下「認定審査」という。）合格者で、中学校卒業後から出願するまでの間に、何らかの活動等に積極的に取り組んだ人であれば、出願できます。

※ 用語説明

認定試験及び認定審査は、文部科学省による高等学校卒業程度の学力を有することを証明する国家資格です。そのうち、認定審査は、令和4年度から導入された国家資格で、高等学校等に2年以上在籍し大学へ飛び進学した方が対象になります。

なお、防衛大学校着校時（入校年度4月1日現在）において、18歳以上であることに変更はございません。

**Q 7** 高等学校既卒者です。高等学校時代には特に活動していませんが、高等学校卒業後に活動実績があれば、出願することはできますか？

（回答）

高等学校時代に特に活動等をしていなくても、高等学校卒業後に活動実績がある人は、出願できます。

※ 補足事項

高等学校時代に活動実績がある人は、高等学校卒業後に活動等を辞めてしまった場合でも、出願できます。

**Q 8 どのような資格を持っていると有利ですか？**

(回答)

語学・情報処理及び各種検定等での資格取得が該当しますが、資格そのものを評価するというよりも、結果に至る努力の過程と、そこで得た経験等を今後どのように活かしていくか、という点を重視しています。

**Q 9 過去の合格者は、どのような活動実績で出願したのですか？**

(回答)

過去の合格者の活動実績には、以下の様なものがありました。

分 類	活 動 名	活動実績、活動内容
文化部	演劇部	主役、県大会ベスト8
文化部	吹奏楽部	部員、県大会銅賞
文化部	囲碁部	全国大会団体戦11位
運動部	ハンドボール部	キャプテン、県大会準優勝
運動部	サッカー部	控え選手、全国大会県予選出場
運動部	野球部	内野手、県大会ベスト8
校内活動	図書委員会	委員長、校内誌の発行
校内活動	生徒会	副会長
校外活動	ボランティア	熊本震災ボランティア
校外活動	ボーイスカウト	ベンチャー章取得

## ※ 補足事項

全国大会優勝のような、際立って顕著な実績しか出願資格に該当しないということはありません。

実績の優劣を要件としているのではなく、活動を通じて学んだことを、防衛大学校に入校した後、更には幹部自衛官となった後も、活かそうという意志と可能性が重視されます。

**Q 10 各種大会等が開催されなかったのですが、出願することはできますか？**

(回答)

出願できます。

新型コロナウイルス感染症等の影響により各種大会が開催中止や延期となり、第2次試験時までには活動の証明として各種大会等の結果を提出できない場合は、日頃の部活動等での役割や活動内容を第三者（顧問の先生等）に記入してもらうことにより、活動実績とすることができます。

資格試験や検定等が中止や延期になった場合も同様になります。

## ※ 参考事項

重視されるのは、結果に至る努力の過程と、そこで得た経験等を今後どのように活かしていくか、という点です。

## 2 提出書類について

### Q 1 1 どのような提出書類がありますか？

(回答)

応募書類（「志願票」、「自衛隊受験票」、「調査書等」、「返信用封筒」）の他に第2次試験受験時に以下の4種類の書類を提出していただきます。

- ① 『志願理由書』⇒Q 1 2
- ② 『活動実績報告書』⇒Q 1 2
- ③ 『活動実績証明資料』（任意での提出）⇒Q 1 3～1 7  
『活動実績報告書』に記載した活動等を客観的に証明できる資料
- ④ 『活動実績証明書』⇒Q 1 8～2 0

上記書類は、第1次試験終了後にお渡しいたします。第2次試験受付時に当該書類を提出しなかった場合には、受験することはできませんので、ご注意ください。

提出された書類が要件を満たしていない場合には、不合格となることがあります。

なお、提出された書類に不正があった場合には、採用を取り消すことがあります。

### Q 1 2 『志願理由書』及び『活動実績報告書』に複数の活動内容を記入してもよいですか？

(回答)

複数の活動等に取り組んだ人は、各々の活動等について記入してもかまいません。

ただし、記入した全ての活動等について、『活動実績証明資料』（任意での提出）と『活動実績証明書』の提出が必要となります。

**Q 1 3 『活動実績証明資料』は、どのようなものを提出すればよいですか？**

(回答)

『活動実績報告書』に記入した活動が、本当に受験者本人の活動であることを客観的に証明できる資料（各種証明書、表彰状・賞状又は新聞・雑誌等）（※注）を提出してください。

その際、原則として受験者本人のフルネームが明記された紙（印刷物やホームページ等からプリントアウトしたもの等）の資料を提出してください。

新聞・雑誌等を提出する場合には、努めて新聞名、雑誌名及び掲載年月日、掲載号等が明示された資料を準備してください。あまりにも不明瞭な資料は、提出物として認められない場合があります。氏名記載箇所はラインマーカー等でマークしてください。

また、ホームページ等からプリントアウトした資料を提出する場合には、極力、報道機関や公的団体のホームページ等のアドレスが明示された資料を準備し、ラインマーカー等で氏名記載箇所をマークしてください。

受験者の所属する学校（卒業した学校を含む。）等のホームページ等からプリントアウトしたものでも、証明資料として認められますが、可能であれば、報道機関や公的団体のホームページ等客観性の高い資料を提出してください。

なお、資料の客観性を確保するため、受験者本人及びその親族、友人の作成したホームページ等からプリントアウトしたものは、証明資料とは認められませんので、ご了承願います。

※注：『活動実績報告書』に記載した活動と無関係の資料の提出は認めません。

また、提出された資料は返却できませんので、原本等が必要な場合には、コピー等を提出してください。

なお、『活動実績証明資料』の提出は任意となりますが、活動実績を証明する資料がある場合は、提出してください。

**Q 1 4 大会成績や資格認定書等がなく『活動実績証明資料』が提出できない者でも出願できますか？**

(回答)

『活動実績証明資料』は、任意での提出となりますので、出願できます。

『活動実績証明資料』は、あくまでも『活動実績報告書』を証明する補足資料となります。提出することによって有利になる場合はあっても不利になることはありません。

**Q 1 5 姓のみ（又は団体名のみ）が記載された資料は、『活動実績証明資料』になりますか？**

(回答)

姓のみ（又は団体名のみ）が記載された資料だけでは、原則、証明資料として認められません。

しかし、フルネームが記載されている参加大会等の選手名簿、パンフレット等を添付する、または『活動実績証明書』の所見欄へ「本人であることの証明」を記入してもらう等の補足をすれば、証明資料とすることができます。

**Q 1 6 『活動実績証明資料』をCD・DVD等や冊子で提出してもよいですか？**

(回答)

資料は、A4サイズの内紙等（印刷物やホームページ等から印刷したもの）で提出してください。USBメモリ・CD・DVDの磁気・電子媒体による動画等の提出は認められません。

また、冊子を提出する場合は、必ず、付箋等で氏名等が掲載されているページを明らかにし、ラインマーカー等で氏名記載箇所をマークしてください。

ただし、提出された資料は返却できませんので、原本等が必要な場合には、コピーを提出してください。

**Q 1 7 外国語の新聞・雑誌等を『活動実績証明資料』として提出してもよいですか？**

(回答)

外国語の新聞・雑誌等に限らず、外国語で記載された資料の提出は可能ですが、必ず和訳文を添付してください。

**Q 1 8 『活動実績証明書』を記入してもらう人は、どのような人でなければならないですか？**

(回答)

『活動実績証明書』に記入する証明者は、活動等を指導・観察した人が対象になります。主として学校の部活動の監督や顧問、所属する団体の指導者、ボランティアや各種活動の指導に当たった人を想定しており、受験者の活動に責任をもって証明していただける人（※注）に記入をお願いしてください。

※注：活動等の期間に対し、指導・観察した期間が極端に短い人、受験者の3親等以内の親族（父母、祖父母、曾祖父母、兄弟姉妹、伯叔父母、甥姪）、未成年者等は証明者になることができません。

**Q 1 9 『活動実績証明書』を2部以上提出してもよいですか？**

(回答)

『活動実績証明書』は、原則1部提出してください。なお、2部以上提出していただいても構いません。

複数の活動実績がある場合は、1つの活動実績につき、原則1部提出が必要になります（※注）。

※注：複数の活動実績があり、『活動実績証明書』を2部以上提出する場合、証明者は可能な限り重複しないようにしてください。

**Q 2 0 『活動実績証明書』には、どのようなことを記入してもらえばよいですか？**

(回答)

『活動実績証明書』には、ありのままの活動等の実績を記入してもらってください。



### 3 第1次試験について

Q21 第1次試験において、どのような科目がありますか？また、第1次試験の時間割は、どのようになっていますか？

(回答)

	人文・社会科学専攻			理工学専攻			所要時間
	教科	科目	区分	教科	科目	区分	
学力試験	英語	コミュニケーション英語 I・II・III	マーク センス	英語	コミュニケーション英語 I・II・III	マーク センス	50分
		英語表現 I・II			英語表現 I・II		
	小論文		記述	数学	数学 I・II・III 数学 A・B	一科目 選択	60分
		理科		物理基礎・物理 化学基礎・化学			

理工学専攻の数学・理科は、数学と物理又は数学と化学を同じ時間帯で受験していただきます（物理又は化学のいずれか一科目を選択）。

また、数学Bは「数列」及び「ベクトル」のみ。物理基礎及び物理は「原子」を除きます。

出題範囲は、文部科学省の高等学校学習指導要領に基づいた内容です。

なお、科目は、学習指導要領の表記法に従っています。

Q22 『小論文』は、どのような問題が出題されますか？

(回答)

受験者の読解力や表現力等を問う問題を予定しています。

## 4 第2次試験について

**Q 2 3 第2次試験において、どのような種目がありますか？また、第2次試験の時間割等は、どのようになっていますか？**

(回答)

第2次試験においては、『適応能力試験』、『問題解決能力試験』、『基礎体力試験』、『口述試験』、『身体検査』を2日間で実施いたします。2日間の試験を通じて、受験者の資質等を多角的・総合的に評価する試験ですので、一つでも受験しない試験があれば、不合格となります。試験の種目免除はございませんのでご承知おきください。

時間割等については、第1次試験合格者に対し、第2次試験の受験案内で示します。

なお、第2次試験は、防衛大学校において2日間で実施し、1日目に『適応能力試験』、『身体検査』及び『基礎体力試験』を、2日目に『問題解決能力試験』及び『口述試験』を実施します。

### ※ 参考事項

『口述試験』及び『身体検査』については、受験者毎に時間割が異なりますので、細部については、試験当日に発表いたします。

**Q 2 4 『適応能力試験』は、具体的に何をして、どう評価されるのですか？**

(回答)

防衛大学校内における集団での作業などを通して、受験者の行動全体を観察し、リーダーシップ及びフォロワーシップ等、集団生活に対する適応性を評価します。

**Q 2 5 『基礎体力試験』の目的と実施種目は何ですか？**

(回答)

『基礎体力試験』の目的は、幹部自衛官として必要となる基礎的な体力を有しているかを評価することです。実施種目は、『立ち幅跳び、ハンドボール投げ等』です。ただし、今後の状況により、種目の変更・削減を行う場合がありますので、詳しくは第1次試験合格者に対して発送する第2次試験の受験案内でご確認ください。

**Q 2 6 『基礎体力試験』の合格基準は、スポーツの活動実績で出願した者と、そうでない者との間で、差が設けられるのですか？**

(回答)

受験者の活動実績によって、合格基準に差を設けることはありません。

**Q 2 7 『基礎体力試験』中に怪我等をした場合は、どうなりますか？**

(回答)

試験中に怪我等をした場合には、救護員や医務室で応急処置をいたしますが、その後の治療については、受験者のご負担となりますので、あらかじめご了承ください。

なお、『基礎体力試験』における怪我等が原因で、その後の試験を受験できなかった場合でも、理由の如何に関わらず、試験を棄権したものとさせていただきます。安全に十分配慮して試験に臨んでください。

**※ 補足事項**

持病や既往症のある方は、受験前に主治医等に『基礎体力試験』の種目（立ち幅跳び、ハンドボール投げ等（※ただし、天候等の状況により、種目を変更する場合があります。))について、相談されることをお勧めします。持病や既往症のある方及び主治医等から注意事項等があった方は、必ず『身体検査』受検時にその旨を申告してください。

試験当日は、『基礎体力試験』を実施する前に、『身体検査』を実施し、健康状態等を確認させていただきます。また、試験の開始時には準備運動を実施し、試験中における怪我等の発生の防止に努めるとともに、万一、怪我等が発生した場合に備え、救護員を配置します。

**Q 2 8 『問題解決能力試験』とは、例えばどのような課題が出題されるのですか？**

(回答)

例えば、「学校行事を企画するリーダーとして、実現までに幾つかの障害があり、関係者の合意を得る必要がある」等の状況を課題として出題します。

**Q 2 9 『問題解決能力試験』とは、具体的に何をして、どう評価されるのですか？**

(回答)

初めに、与えられた課題に対しての問題点及び解決策等を受験者個人毎にまとめてもらいます。その後、グループ（8名程度）で討議をしてもらうことにより、問題発見能力、問題解決能力及び合意形成能力を評価します。

## 5 その他

### Q 3 0 他大学と併願することはできますか？

(回答)

併願できます。

ただし、本採用試験の出願資格は、「合格した場合には、防衛大学校への『入校を確約できる者』」であることを理解した上で、出願してください。

### Q 3 1 防衛大学校の他の採用試験（推薦・一般）での合格者と入校後のカリキュラム等に相違はありますか？

(回答)

試験区分による入校後のカリキュラム及び訓練等に違いはありません。

### Q 3 2 試験における新型コロナウイルス感染症の取り扱いはどうなりますか？

(回答)

新型コロナウイルス感染症に罹患している場合はインフルエンザに罹患している場合と同様に、受験をお断りさせていただくことがございます。

また、近親者等が新型コロナウイルス感染症に罹患した場合でも、受験者本人が罹患していない場合は受験可能です。

なお、上記の方針は変更になる場合がございますので、詳しくは受験案内をご確認ください。

**総合選抜採用試験** についての詳しいことは、

**防衛大学校教務部入学試験課** にお問い合わせください。

TEL 046-841-3810(代表) (内線番号 2153・2087)